

軍事極秘

自昭和十七年三月一日

至昭和十七年三月三十一日

陣中日誌

第五號

20505

歩兵第十一聯隊第七中隊

0188

陸軍

月 日

三月一日 日曜日 晴 於クワラピラ

一 中隊ハ八時起床宿營準備不完全タルタメ極力準備ヲ責
施セシム

二 十時五分ヨリ各小隊長共ニ市内分哨、巡察、隱匿兵器
總資源調査ニ出發ス 十四時五分歸隊ス

三 午後八各小隊毎ニ身辺整理[※]完全ナル兵器被服、手入責
施セシム

四 十四時五分沖野後西一等兵八池上一等兵、死体受領
、タメニホルルベールニ出發ス 本日警備異常ナシ

勤務

五 本日勤務員左ノ如シ

日道下士官 中塚 軍曹

日道上等兵 兼 田上等兵

第一分哨 藤崎伍長以下七名

第二分哨 柳路伍長以下五名

0189

作

命
六

渡作命第九七號

第三分哨
第四分哨
第五分哨

平岡上等兵以下五名
倉本兵長以下五名
松下伍長以下五名

渡邊部隊命令

三月一日ハハハ

一 渡邊部隊ハ本駐留間兵器修理ヲ完全ニ次期
作戰ニ準備スル

二 第三大隊及聯隊砲連射砲通信中隊ハ銃工及
銃工兵ハ人員ノ場合ハ適任者ヲ選定シ全員自勤
車修理ニ経験アルモノヲ左記ノ通り選定シ三月二日
ヨリ毎日九時迄ニ部隊本部ニ差出シ御前中尉
ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

左記

第二大隊

兵五

東京・大橋納

0190

命令

陸軍

聯隊砲中隊	兵	二
速射砲中隊	兵	一
通信中隊	兵	二

三 服装ハ徒手帶劍脚絆ヲ穿ケ晝食ヲ携行セシムヘシ

渡邊 部隊長 渡邊 大 佐

下達法印刷交付

原命令第七號

第三大隊命令 三月一日ニシテ

一 朔日各警備隊長ヲ召集シ命セシム

二 大隊ハ各警備隊長ヲ朔日一一三。迄ニ大隊本部

ニ集合セシムトス

三 各警備隊長ハ二日一一三。迄ニ大隊本部ニ集合ス

ヘシ之ガ為自動車及護衛兵ヲ派遣ス

四 第五中隊長ハ小銃ヲ分隊ヲ朔日二日。五四。迄ニ

0191

917

現在員八
八三名

三月二日 月曜日 晴 於クワラピラ

本部前ニ差出シ大隊副官指示ヲ受ケムヘシ
五自働車 班長ハ自働貸車ニ車一輛ヲ明ニヨリ
。近ニ本部前ニ差出シ大隊副官指示ヲ受ケムヘシ

服装ハ輕装ニテ朝食ヲ携行セムヘシ

第三大隊長代理 西原大尉 附

下達法 第五中隊自働車班長ニ要旨ヲ達シ各警備
隊ニ水運自働車ヲシテ傳達セム

一中隊長ハ四作命第七師ニ基キ十時第六中隊長ト共ニ
ハニ警備隊ニ至リ次期治安肅清ニ關シ打合セラズ

十六時五十分歸隊ス

二十六時ヨリ各小隊長ヲテ内務巡視ヲ實施セシム 大体於
テ諸準備備附物品等整ヒ良好ナリキ

二十八時各小隊長ヲシテ次期作戰ニ於ケル打合セラズ

(東京・大橋)

0192

勤務
四 本日勤務員在如し

陸軍
二 張軍曹

日直上等兵
日直下士官
渡利上等兵

第一分哨
鳥伍長以下七名

第二分哨
打坂伍長以下五名

第三分哨
高橋伍長以下五名

第四分哨
柱伍長以下五名

第五分哨
寺本兵長以下五名

命令
五 渡作命第九大郎

南警備隊命令
三月二日警備隊本部。

一 敵性分子情況別隊要圖、如く敵性分子ハ近時要

々(シ)ニシテ、附近鐵道ヲ破壞シツアリ

二 南警備隊ハ先ヅ鐵道沿線、敵性分子ヲ捕殺

ス陸軍下大

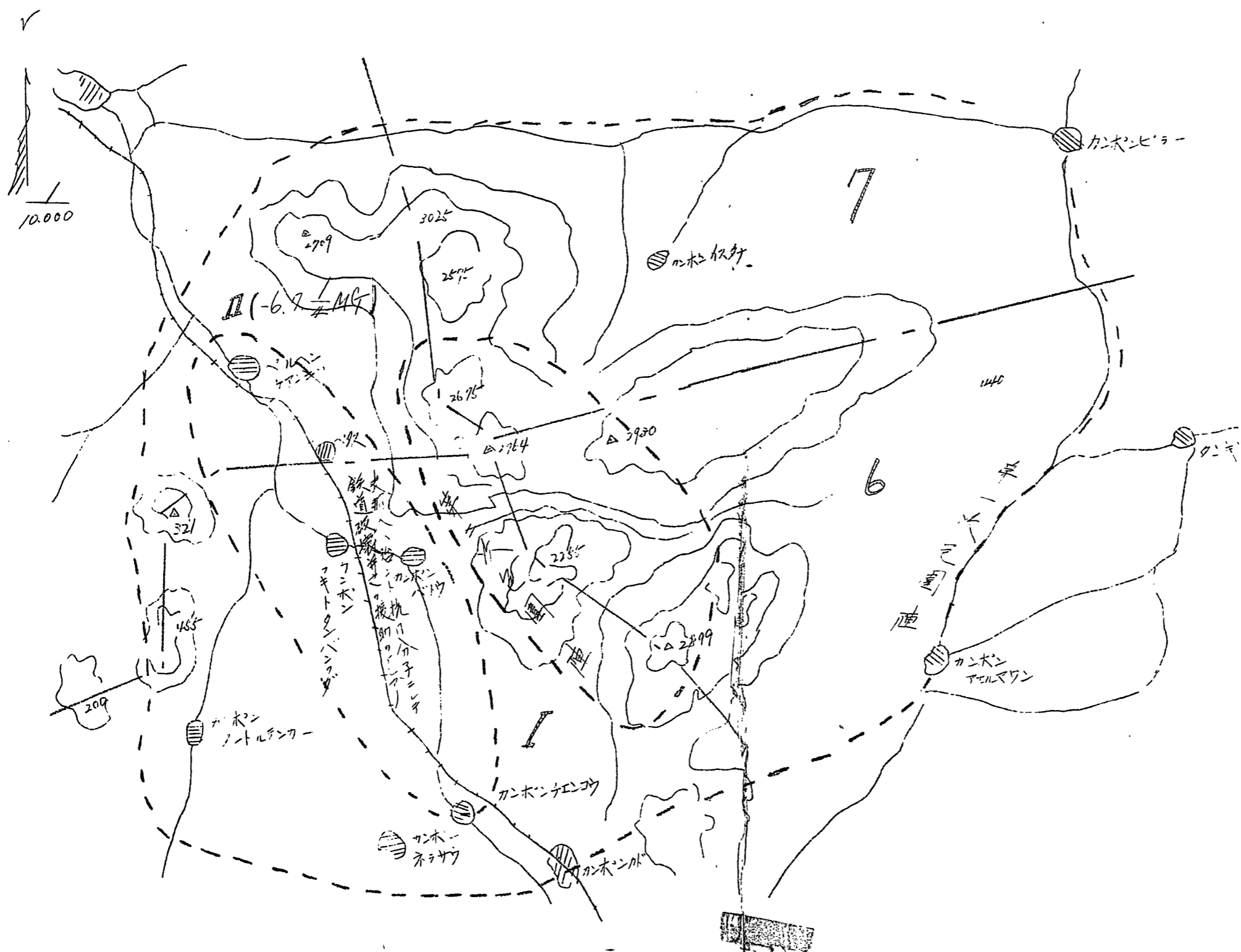
0193

南警備隊地区内、軍政部吏部憲兵兵站諸部
隊、本敵性分子、莫除ニ協力ス

其協力情况別紙、如シ

三 第三大隊(第三隊欠⁽¹⁾ 支⁽²⁾ 屬)ハ明三日早朝行動
ヲ開始シ先ツカニポイントニ附近ノ敵性分子ヲ莫除シ
タル後同日夕迄ニ第一回圍圍ヲ構成シ四日早朝ヨリ
前進ヲ起シ折在ノ敵性分子ヲ求メテ掃蕩シ五日夕
迄ニ第二回圍圍ヲ構成シ六日早朝ヨリ更ニ行動
ヲ開始シ^{△2877}(カニポイント)東北方約四料(其ノ西北方約
四料²²⁵⁵其ノ北方約四料^{△2764}ノ線ニ進出スヘシ
第六第七中隊ト連絡シタル後同線ヲ撤シ「カニポイント」
トシヨリカニポイントトタニバンクダ」西側地区附近ニ至ル間
ノ要兵ニ兵カヲ配置シ敵性分子ヲ莫除後ノ活動ノ虞
シツ、後命ヲ待ツベシ

東京・大橋納



渡作命第九八號別紙
 敵性分子清況并戦闘地域境界要圖

陸軍

本行動依リ鐵道沿線ノ敵性分子一掃セルハ
原駐地ニ歸還シマラシカ州内ニ於ケル穩匿兵器收
集ヲタシムル也

四 第五隊(第六第七中隊機關銃一小隊欠)馬

ハ三日夕迄ニ第一包圍圈ヲ構成シ四日早朝前進ヲ開始
シ所花ノ敵性分子ヲ掃蕩シ五日夕迄ニ第二包圍圈ヲ
構成シ六日早朝同線ヨリ攻撃前進ヲ開始シ^{26日}ヘタス
東方約五料(其北方約四料)線ニ進出シ第七中隊
ト連絡シタル後「ヘタス」「ヘルンケアキ」間ノ要兵ニ兵力
ヲ配置シ敵性分子ノ活動ヲ搜索シツレ後命ヲ待ツルニ
鐵道沿線ノ敵性分子本掃蕩依リ一掃セルトハ
九月ヨリアテマ「タンキ」間ノ敵性分子掃蕩ヲタシムル
也

五 第五中隊(機關銃一小隊(一分隊欠)附)ハ三日夕迄ニ第

一色團陣ヲ構成シ四日早朝ヨリ前進ヲ起シ所収敵
性分子ヲ掃蕩シ五日夕迄ニ第二色團圍ヲ構成シ六
日早朝ヨリ前進ヲ再興シ^{25%}(カニホメル夕西北方約ニ料)
其南方約四料^{26%}其東方約ニ料^{27%}線ニ進出シ第六
隊第五隊第六中隊ト連絡シタル後第二色團圍
線ト要兵ニ兵カヲ配置シ敵性分子ノ行動ヲ偵察
シテ後命ヲ待ツシ

本掃蕩ノ結果敵性分子一掃セルレハ九日ヨリテ先
方^{28%}タニ^{29%}間敵性分子ヲ掃蕩セシムル事

六 第六中隊(機關銃一分附)ハ三日夕迄ニ第一色團圍ヲ
構成シ四日早朝ヨリ前進ヲ開始シ所収敵性分子ヲ
掃蕩シ五日夕迄ニ第二色團圍ヲ構成シ早朝更ニ前
進ヲ開始シ^{27%}(カニホニフキトタンハンク夕)東方約四料
其南方約四料^{22%}高地ノ線ニ進出シ第二隊第七中

東京・大橋納

0197

隊連絡シタル後、クニキ、東方地区ニ兵力ヲ集結シ、クニキ
以西山岳地帯ニ至ル間、敵性分子ノ情况ヲ搜索シ、ク
後命ヲ待ス。

本掃蕩ニ依リ、鐵道沿線、敵性分子一掃セラルルハ
九月ヨリ、アモマフン、クニキ、間、敵性分子ヲ掃蕩
セラル筈。

七、戦闘地域ノ境界ハ別紙要圖ノ如シ。

八、爾今、諸隊ハ現在地ニ依リテ依然前任務ヲ續行ス。シ
但シ、聯隊砲連射砲中隊、通信中隊ハ、隨時小銃
キヲ出勤セシメ得ル準備ニマルヘシ。

九、出勤部隊ハ特ニ友軍ノ相殺手ヲ戒メ、且マラソカ方面
ハ、敵性分子ノ脱逃ヲ防止スヘシ。

十、出勤部隊ハ原駐地ニ必要最小限ノ兵員ヲ残置
シ、成ルヘク多数掃蕩ニ参加セラルヘシ。

現
在
頁
六

三月三日 火曜日 晴

於コウビンアーカーネ下

第一期掃蕩之本日ナルヲ午前中準備ヲ完全ニ實施セ
シム

二午後八時準備ヲ完了シタル後全員休養セシム

出勤部隊、服装ハ輕装ニテ糧秣六日分彈
藥ハ定數ヲ携行スヘシ
自轉車ヲ用フルコトヲ得

二本掃蕩間、合吉葉ハ天祐神助トス

三予ハ第一第三大隊ヲセレンハンカニホニケントシ道

以東ノ地區ニ進出セハカニホニキョトタンヘンクダニ

列ル

南警備隊長 渡邊 大 佐

下達法 各隊長ヲ集メ圖上ニ於テ行動概要ヲ教
示シタル後印刷交付

八三名

東京・大橋納

0199

異勤	命令	勤務
七	六	五
陸軍一等兵 早川 春三	一 陸軍伍長 昌永知 任陸軍軍曹(三月一日付) 三月三日一六。セレハ八三部隊本部。	三 中隊八十七特行勤ヲ開始十九時カホニケントニ於テ 第二次包圍陣ヲ完成ス 四 掃蕩分哨八連日勤務トシ晝夜間三分一ノ般取 ヲ許可ス 五 本日勤務員左ノ如シ 日直下士官 第一分哨 藤崎 伍長以下五名 第二分哨 御路 伍長以下五名 第三分哨 平岡 上等兵以下五名 第四分哨 竹内 伍長以下五名 昌永 伍長 陸軍

0200

入院中折治廢退院本中隊復歸ス

陸軍一等兵 前田 實

同

木 葉 十 代 太

シンガポールニ由隊材料監視上服務中中隊復歸ス

現衣勇 八 八 六 名

三月四日 水曜日 晴

於カニホニセントニ
於カニホニスタナ

一中隊八六時起永第ニ日自行動ヲ開始ス

二中隊八第一隊(警備官十名ヲ屬ス)ヲ本道左側 第二小隊

(警備官十名ヲ屬ス)ヲ本道右側ヲ主カハ本道上下前進掃

蕩セシム

十時カニホニスタナニ到着ス此附近支那人家屋多

数ニテ兵界隠匿シテリトノ情報ニ接シ支那人全員ヲ

訶門社家屋捜索ヲ實施セシム此附近ノマニ人持我

ニ好意ヲ有セリ 本不傾分子刺殺致 五五名

東京・大橋納

0201

陸軍

勤務

三 平日勤務負任如シ
三 平時期間掃蕩ヲ終リ露營準備ヲ完了ス

第一分哨

打 坂伍長以下五名

部隊衛兵

伊 藤上等兵以下五名

會報

四

會報

三月四日 一六ノ
セシムハバシ

一 衛兵・服務ハ不良ナリ

即ち夜戦要務令諸勤務令ノ理解ニ疑シキモナリ

各隊長ハ教育ノ徹底ヲ期スルニ決シテ通時部下取

箇所ニ自ラ或ハ指定セル幹部ヲ巡察セシメ現場通

應スル現地教育ヲ行ヒ將來改善ヲ要スヘキ事項ヲ

報告スベシ

一 所屬設備ハ概テ可ナク第一大隊裏茨木場裏ニ

ハ多数ノ蠅蛆集シアリ

速ニ驅除スルヲ要ス

0202

尚便所出入口ニ消毒水ヲキ箇所ノ遠ニ設備シ置ク
ヲ必要ナリ

一市街ハ概ネ清潔ナルモ塵捨場ニ汚物蓄積シ蠅
ノ多数増集セルモアリ 軍政部ニ於テ市民ヲ指導
シ之カ除去ニ努メラレ度ニ

陸軍一等兵 一本 信 大

コロムブル兵站病院入院中治愈退院中隊獲傷ス

ハ七名

三月四日 木曜日 晴 於カ示シタナカニシタ

一 中隊ハ七時起床後準備ヲ完了シ第三日掃蕩ヲ開始ス

二 中隊ハ前日同シク第一小隊ニ警備官十名ヲ屬シ本道上ニ前

第三小隊ニ警備官十名ヲ屬シ右側主力ハ本道上ヲ前進

掃蕩ヲ實施ス

此附近ハ大新合ニレ人ニテ支那人家屋非常ニ少ク

東京・大橋

0203

大

陸軍

勤務

此附近ノマレ人非常ニ我ニ好意ヲ有セリ
十八時掃蕩終ニ本日不慮分子六〇名刺殺ス
十九時三分警備準備ヲ完了ス
本日勤務員戸ノ如シ

第一分哨

新隊衛兵

高橋伍長以下五名
松下伍長以下五名

命令

四

渡作命第一二號

南警備隊命令

三月五日ハニニ

一 鐵道沿線、敵性分子、掃蕩ノ豫定ノ如シ進揚ス
コソリ

二 第三中隊二小隊欠ハ明日ハ日一ニシテ近ニ120(ア)元マウソ西
北方約四料(北)北農實線路附近ニ主力ヲ北方約一料
半(130)北農實線路附近ニ一部ヲ配遣シ第六中隊
撤退後敵性分子ノ山岳地帯内ニ逃避スルヲ防止シ

0204

その後命ヲ待ツベシ

移動シテ自動車ニ交付ス其細部ハ御前中尉

ト協定スベシ

三 聯隊彈藥班ハ掃蕩出動中各部隊ニ互記ノ個

所ニ於テ各隊ノ携行彈藥定数ニ滿ル如ク彈藥

ヲ交付スベシ

其ノ数量ハ別ニ指示ス

第一大隊 カンホニ生シウウ

第三大隊主刀 ベルヘンケンギ

第六中隊 タンキ東カニ料ニ又路

第七中隊 カンホニイヌタチ(カンホニビラノ南九料)

四 吉川主計中尉ハ各正午迄ニ掃蕩出動ノ各隊ニ

前項彈藥交付位置ニ於テ四日令糧秣ヲ交付

スベシ

東京・大橋納

0205

勤務	現長員 A 日
<p>三本ノ勤務員左ノ如シ</p>	<p>五子ハレニホウニ依リ 南警備隊長 渡邊 大 佐 下達法 各隊命令受領者ニ印刷交付 五 ハ七名 三月六日 金曜日 晴 於カネニル夕 一中隊八時起床第一小隊(警備官十名ノ屬)ハ自轉車ヲ カネニビイラーヲタテニ都落ヲ再掃蕩ヲ實施セシム 第二小隊(警備官十名ノ屬)ヲ以テ第三大隊駐第五中隊トノ 連絡ヲ實施セシム 爾余ノ諸隊ヲ以テカネニル夕附近都落 民ノ動靜ヲ監視セシム ニ第一小隊ハ十四時三十分掃蕩終リ歸隊ス不領分子十 ニ名剩被セリ 第二小隊ハ各々ノ連絡ヲ終リ十七時歸 隊ス 本日カネニル夕ニ宿營ス</p>

陸軍

0206

會報 四

部隊衛兵 馬 伍長以下五名

南警備隊會報 三月十日 部隊本部

一衛兵勤務の遂次良申上好ニ言ツアリ

各隊の過夜會報ノ趣旨ニ基キ一層教育ノ徹底ヲ

期スルヲ要ス

ニ軍政部支部長及憲兵隊ヨリノ通報ニ依レバ

アラビヤ駐比ノ第七中隊ハ持ニ軍紀嚴正ニシテ一擧

兵天德類シ好意ヲ抱キアリト

三月八日宿地ノ合同慰靈祭々場ヲセシムルニ俱樂

部ニ變更ス

陸軍上等兵 仁井 成人

シゴラー材料貨物支領ノ多ク出張中ノ折本中隊

復歸ス

陸軍一等兵 沖野 竹次

東京・大橋前

0207



現
長
員
日

勤
務

同
九。名

シヨホルハル遺骨受領ノ出張中本自中隊後歸ス

三月七日 土曜日 晴 於カネシタクワラビラ

一中隊八時起床六時出發準備見アシ先之徒步行軍

九時半分カネシホルタニ到着シ朝食クハス

二十時配屬自動車並警察自動車ニテ十一時半分合演元氣

旺盛ニテクワラビラニ到着ス 午前十ハ兵器被服自轉車

ノ完全シタ入カニタル後休養セシム

本自勤務員左ノ如ク

日直下士官

日直上等兵

第一分哨

第二分哨

後 常上太郎

陸軍

山本兵長

兼田上等兵

藤崎伍長以下五名

郷路伍長以下五名

0208

月 日	現 任 員	命 令
三月八日	五	四
日曜日 晴 暖 雨	天、名	<p>第一分隊 第二分隊 第三分隊 第四分隊</p> <p>第一隊日々命令 三月八日一六時ヨリ、セラムハニ驛東方廣場ニ於テ前 隊合同慰霊祭ヲ實施スル 隊ヲ左ノ通り心得ス(シ)</p> <p>1. 参列者(討伐出動中、ス)</p> <p>大隊本部各中(独立小)隊毎ニ將校(下士各一兵)</p> <p>2. 服装</p> <p>軍靴ニテ指囊、鐵帽防毒面ヲ除キ略綬佩用</p> <p>3. 集合</p> <p>廣目一〇〇〇迄ニ集合シ自動車行ニ依ルモトス</p>
於 クワラピラー		

東京・大橋前

0209

勤務

一中隊八午前中第三期討伐地次期兵器検査準備、自的及
 予定全兵器手入、實施セシム
 二本日十七時ヨリ部隊慰霊祭セシムヘンニ於テ實施セラル、付
 中隊長職任長以下五名参列ス
 二十七日ヨリ約二時間柳堀曹長ヲテ体操遊戯ヲ實施セシム
 四本日、勤務員任、如シ

命令

五

復命第二四號

南警備隊命令

三月八日九、

- 日直下士官 小 田 兵 長
- 日直上等兵 加 藤 上 等 兵
- 第一分哨 竹 内 伍 長 以下 五 名
- 第二分哨 今 田 伍 長 以下 五 名
- 第三分哨 柳 路 伍 長 以下 五 名
- 第四分哨 平 岡 上 等 兵 以下 五 名

0210

一 鐵道沿線ノ敵性分子ハ南警備隊ノ掃蕩ニ依
 リ一掃セラレタリ
 「アエルマツ」タニキ間ノ敵性分子ノ情況別紙要
 圖ノ如シ
 二 南警備隊ハ「アエルマツ」タニキ間ノ敵性分子ヲ掃
 蕩ニ際シ
 軍政部憲兵支站請新隊ハ依然本掃蕩ニ協
 力ス
 其ノ協力要領 鐵道沿線時ノ掃蕩時ニ同シ
 三 第三大隊（欠如配屬如故）ハ九日早朝行動ヲ開始
 シ「カニホニレハ」附近ノ敵性分子ヲ掃蕩ニ際シ
 日夕迄ニ包圍陣ヲ十日早朝前進ヲ開始シ所存ノ
 敵性分子ヲ掃蕩シ日夕迄ニ「アエルマツ」東北方
 約六料（其西方約ニ料）線ニ進出セントス

（東京・大橋納）

0211

第四第六第七第三中隊ト連絡シテ後「アエルマ」以
北ノ掃蕩地區内ノ要吳ニ兵力ヲ配置シ敵性分子情
況ニ偵察シテ後命ヲ待ス

但シ包圍團構成ニ當リテハ一部ヲ「カンボニカト」
2899(カンボニカト北約四料)「アエルマ」道ヲ前進セル
ヲ要ス

四 第四中隊ハ九日夕迄ニ820(アエルマ東方約六料)以北
ノ山系ニ各々一小部隊ヲ配置シ敵性分子東方ニ
向テスル脱逸ヲ防止セシメ主力ハ九日夕迄ニ525(アエルマ)
東方約四料ノ東西ノ線包圍團ヲ構成シ十日早朝
前進ヲ開始シ敵性分子ヲ掃蕩シ十日夕迄ニ新(アエルマ)
ノ東南約三料(824)西北方約二料間鎖曲線ノ高地線
ニ進出シ第六中隊并第三大隊主力ト連絡シタル後
「アエルマ」并其北方約二料道路集合吳附近ニ兵力

ヲ集結シ後命ヲ待ツベシ

五 第六中隊(配属如故)八九日夕迄ニ集結位置西側附近ノ敵性分子ヲ摘發及疎シテ包围圖ヲ構成シ百早朝前進ヲ開始シ所収ノ敵性分子ヲ掃蕩シ土口ヲ迄ニ呼 西北方約ニ科開嶺曲線高地ヨリ「アエルマツ」カンボニビラー」道進出シ第四中隊第六隊第七中隊ト連絡シタル後「ア」附近ニ集結シ敵性分子動向ヲ搜索シ、後命令ヲ待ツベシ

六 第七中隊(配属如故)八九日夕迄ニ包圍圖ヲ構成シ十日早朝ヨリ各一部ヲ以テ「アエルマツ」カンボニビラー道以西ノ山系ヲ主力ヲ以テ本道ニ沿テ前進シ所収ノ敵性分子ヲ掃蕩シ十日夕迄ニ「125(カンボニビラー)南々西約八科」其東南方約三科¹²⁵及其ノ東方枝線ノ線ニ進出シ第七中隊第六隊主力第六中隊ト連絡シタル後包围

東京・大塚納

0213

國線上ノ要兵ニ兵力ヲ配置シ敵性分子ノ動向ヲ搜索
シテ、後命ヲ待ツル

ノ第ニ中隊ニ小隊欠ハ十四早朝ヨリ行動開始シ、
ル、西七等約四料、¹⁰²⁵ノ線ヲ進出シ、第三大隊勇將是

中隊連絡シタル後、行動夜起位置ニ行動夜起ノ態勢
ニ復歸シ、敵性分子ノ動向ヲ偵察シテ後命ヲ待ツル

ハ行動地域、境界ハ別伏要圖ノ通り且シテ「アムラツ」
カニホニヒラー」道、第八中隊合ム

九第大隊(第三中隊欠)ハ先ス原駐地ニ歸還シ「アムラ」
州内ニ侵入セル敵兵ヲ收集スルニ持ニ「アムラ」附近ノ

敵性分子ノ摘發ヲ除クニシ

本拂蕩士動部隊ノ服裝傍行彈ハ前拂蕩時ニ同
糧秣ハ四合ヲ携行スル

ニ相言葉ハ依然天祐神助トス

0214



現在頁
日

勤務

三月八日 正午 了らるるに到り

南警備隊長 邊 大 佐

下達法各隊命令受領者三印刷セルヲ交付
九〇名

三月九日 月曜日 晴 午後雨 於クワラビラー

一中隊ハ午前中第三回掃蕩準備ヲ行ハシメタル後全員休
養セシム

二第一小隊ハ十七時五分出發渡作命第一〇五號ニ基キ
草十丁ノ村落ニ第一火宅圍障ヲ完成シ該村落民ノ

動靜 治安ニ任セシム

三午後日直下士官ヲ以テ体操遊戯ヲ實施セシム

四本ノ勤務員左ノ如ク

日直下士官 二 張 軍 曹

日直上等兵 仁 井 上等兵

第一分隊 柱 上等兵以下五名

東京・大橋納

0215

陸軍

命令

五

第三分哨
第四分哨
加藤上等兵以下五名
折坂伍長以下五名
松下伍長以下五名
三月九日
第七六八部隊本部

第六軍十一聯隊日命令
昭和十七年三月六日發令

步兵第四聯隊補充隊附陸軍大尉 宮崎 若馬
補充兵第一聯隊大隊長

命令

六

第三大隊長 命令
步兵第十一聯隊日命令
昭和十七年三月五日發令
陸軍軍曹(頭書白附)
三月九日一六〇
第七六八部隊本部

步兵第十一聯隊日命令
昭和十七年三月五日發令
中本 徳三
陸軍軍曹(頭書白附)
昭和十六年十月十日發令
一等兵片田 敏
植木 重春

0216



現人員

月 日

陸軍上等兵之命同日陸軍兵長之命大(頭書白附)

同

辰前真一
西橋孝士

九〇名

三月十日 火曜日 晴 於多々二道標

一中隊八六特三分起衣 出發準備了了之八時第一日掃蕩行動ヲ開始ス

ニ中隊主力第一隊ハ本道上方前進ニ第一小隊及テ系リ上ヨリ分進セル人が附近ハシケン山嶺地帯ニテ前進在テ困難ニテアマチハ路ナクハ三高地附近ニ進本ノ附近部落ヲ掃蕩本道上喉標ニ九附近ニ出テ爾後中隊善ト行動ヲ云々此ノ附近ハ支那人部落小敷ニテ地方支持ニ我ニ好意ヲ有セリ

本日不備分子刺殺 四四名

(東京・大橋納)

0217

52

勤務	三、二十時道標十七附近に露営準備を終了 四、本日勤務員は如し 第一分哨 平回上等兵以下五名 若兵第三聯隊日々命令 陸軍兵長 倉本好人 事務連絡、タメ、レヨキルハル、憲兵隊ニ出張命令 依り明日、タメ、レヨキルハル、出發用濟後速ニ歸隊スル 往復ハ交通車ニ依ルベシ 九、名
命令	五、 若兵第三聯隊日々命令 陸軍兵長 倉本好人 事務連絡、タメ、レヨキルハル、憲兵隊ニ出張命令 依り明日、タメ、レヨキルハル、出發用濟後速ニ歸隊スル 往復ハ交通車ニ依ルベシ 九、名
現人員	九、名 第一分哨 平回上等兵以下五名 若兵第三聯隊日々命令 陸軍兵長 倉本好人 事務連絡、タメ、レヨキルハル、憲兵隊ニ出張命令 依り明日、タメ、レヨキルハル、出發用濟後速ニ歸隊スル 往復ハ交通車ニ依ルベシ 九、名
月日	九月十日 水曜日 晴 於道標十七マイル、タメ、レヨキルハル、 一中隊八九時迄發準備を終了、第一分哨自掃蕩ヲ實施ス 第一小隊(警察官十名)ヲ本道上右側第二小隊(警察官十名)ヲ屬シ、左側ヲ前進シ、掃蕩ヲ實施ス

陸軍

0218

十三時シマバニエイト一到着ニ聯隊長殿並大隊長殿ニ
掃蕩ノ概要ヲ説明ス

二十三時五分薩崎伍長ヨリ大塚本部第六中隊並第七
隊トノ各口ノ連絡ヲ實施セシム

三此附近ノ支那人部漢十数ニシテヨホル方面ヨリ北上セシ支
那人多ク数ナルヲ之ヲ一紙問調査シ不備分子ニテ名
刺殺ス二十三時五分三又路ニテ露營準備ヲ完了ス

勤務

四本日勤務員ト如ク

第一分哨

鴨 伍長以下七名

命令

五 渡作命第一ノ大略

南警備隊命令

三月十日 七ノ一
セレハハニ

一掃蕩中、各隊ハ一ノ四ヲ除ク十二日一ニシテ
左記箇所ニ於テ携帶彈藥ヲ定數ニ滿ル如ク補充シ
糧秣亦分一ノ四ノ分ヲ受領スル

東京・大橋納

會報

六

之カ鳥射教彈藥ヲ速ニ報告ス

五 主力

五ルミ

四

クニカ

六

タニ

七

カホニラ南方約三折交路

聯隊彈藥班ハ十二日一二。迄ニ第一項記述各地到リ

同地ニ於テ冬隊ヲ携守彈藥足敷ニ満ル如ク交付ス

但ニ四月三ノ日ニ反ハス

三 吉川主計中尉ハ十二日一二。迄ニ第一項記述ノ地ニ

糧秣ヲ搬送シ各隊ニ糧秣五日分一四ハ二日分ヲ交付

ス

南警備隊長 渡邊 八 佐

下達法各隊命令交領者ニ印刷セシモノヲ交付ス

南警備隊會報

三月十一日 一六二〇
セムベシ警備隊本部

陸軍

0220

異動
現収員
月日

入

一馬車に於て最近五年間、マラリア患者発生状況ハ
毎年概不三月より増加ノ徴ヲ認メ、胃激増ニ至リ
或ハ有リ最多数ヲ示ス
部隊ノマラリア患者発生ハ地帯ノ發生ニ及、賦之體
多分ニ存スル以テ各隊ハ愈々防疫法ノ實施ヲ徹底
スルニシテ

陸軍一歩兵 五ノ野 實
入隊中、折本日無事、中隊復歸ス

九一名

二月十日 六曜日 晴 於クワラビラー

一中隊ハ元時出發準備ヲ完了ス、九時四十分自動車ニ台三介乗
シ十時五分クワラビラー兵營ニ全員元氣旺盛ニテ歸隊ス
二期日、中隊兵器整備、兵器被服ノ完全ニ事入リテ休息
休養セシム

東京・大橋納

0221

17

四 本日勤務員戸如し	日直下士官	二 張 單 勞
日直上等兵	兼 田 上等兵	
第一分哨	打 坂 伍長以下五名	
第二分哨	柱 伍長以下五名	
第三分哨	加 藤 上等兵以下五名	
第四分哨	松 下 伍長以下五名	
命令	五 渡作命第一八號	
南警備隊命令	三月十二日	
一「カニボンビラー」四圍ノ山地ニハ敵性分子存在シテ	テ持ニカニボン「ハットケン」附近ニハ相雷潜伏シテ	
カ知シ	ニ南警備隊ハ「カニボンビラー」附近ノ敵性分子ヲ摘	
發見陸軍トス		

陸軍

0222

軍政部憲兵大站滿部隊、依然本掃蕩ニ協力ス
 ニ、又如配屬如故、ハ東掃蕩部隊トナリ十四日夕迄ニ別隊要
 圖、如ク兵力ヲ配置シ「カンカ」附近ノ部隊ヲテ十五日早朝ヨ
 リ「カンカ」カント「バットケン」道ニ沿テ敵性分子ヲ
 掃蕩シマ前進セシメ十五日夕迄ニ包圍セテ構成シ十六日
 早朝同線出發所衣、敵性分子ヲ掃蕩シ同日夕迄ニ
 「カホニ」西側高地其西北方約三折開嶺曲線高地
 其東方約四折560高地線ニ進出シ第七第六中隊ト
 連絡シタル後主力ヲ「カンボ」タ「ン」イ「ボ」附近ニ一掃ラシテ
 「カンボ」バ「ルト」ケン「ダ」附近ニ兵力ヲ集結シ敵性分子ノ動向ヲ
 搜索シラシ後命ヲ待ツベシ
 「カホニ」附近ノ敵性分子本掃蕩ニ依リ殲滅セラ
 ルレバ一部及テ「カホニ」ハ「ン」ヤ「ン」ク「ク」ラン「道」ニ沿テ地區ヨリ
 主力ヲ及テ「ク」ク「ク」ラン「西南側」ヨリ「ク」ク「ク」ラン「附近」ノ敵性分子

東京 小澤 納

0223

陸軍

ヲ掃蕩シタル事

四 第六中隊(配属如故)ハ第三掃蕩隊トナリ十五日早朝迄ニ包圍圈ヲ構成シ十六日早朝同線出發折戻ノ敵性分子ヲ掃蕩シ同日夕迄ニ「カホニビラ」西側高地其ノ西北方ニ料簡嶺曲線高地560高地線ニ進本シ第一第三掃蕩隊ト連絡シタル後「カホニビラ」山附近ニ突カラ集結シ敵性分子ノ動向ヲ搜索シマ後命ヲ待ス

五 第七中隊(配属如故)ハ第三掃蕩隊トナリ十五日拂曉迄ニ包圍圈ヲ構成シ十六日早朝同線出發折戻ノ敵性分子ヲ掃蕩シ同日夕迄ニ340(カホニビラ)西南約四村「カホニビラ」西側高地「カホニビラ」北側水流線ニ進出シ第一第二掃蕩隊ト連絡シタル後「カホニビラ」南方約四村ニ突カテ附近ニ突カラ集結シ敵性分子ノ動向ヲ搜索シマ後命ヲ待ス

0224

六 行動地域、行動ハ別故要圖ノ通り

七 相言葉ハ從來通り

八 第四中隊ハ直ニ原州屬ニ復歸スベシ

九 第四中隊ハ約一小隊ヲベルヒンチヤンケン附近ニ配置シ同

地附近ノ敵性分子ノ動向ヲ搜索シテ同地附近ノ鉄道

線路ヲ保護セシメテカハコセレンハニニ歸還スベシ

（ルヒンチヤンケン）附近ニ配置セル部隊ノ給養ハ茅土村

設、鉄道運輸隊ニ於テ担任ス

同隊ノ配置并給養ノ細部ニ関シハ更ニ指示ス

一〇 予ハコセレンハニニ依リ

十六日又、コサニホニピラニ到ル

南警備隊長 渡邊 大佐

下等法隊隊長 命令受領者ニ筆記セルモノヲ交付ス

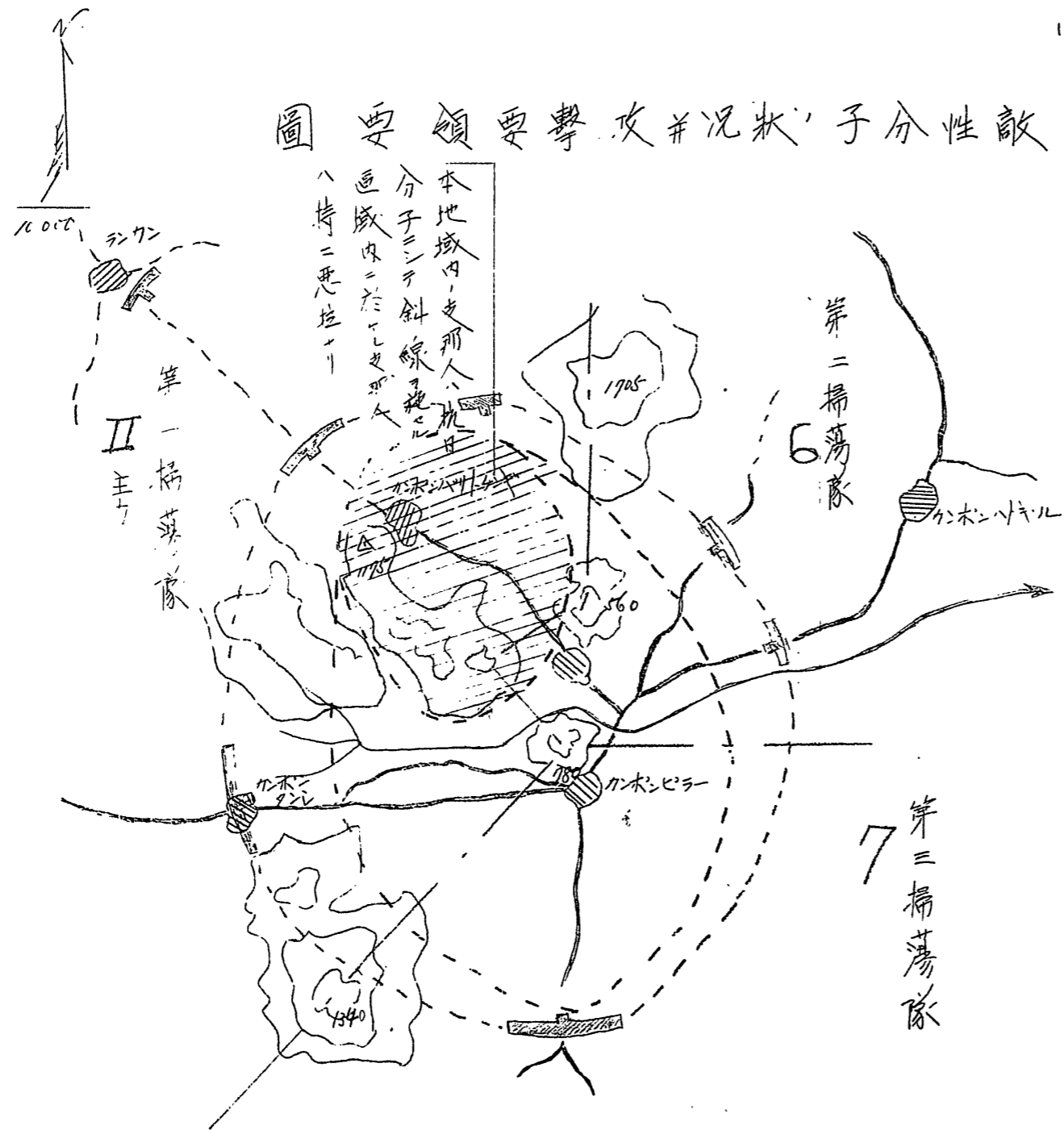
三月十日 金曜日 晴 夕雨 於 各ラニ

規程頁
月 日

東京小澤納

0225

敵性分子の状況及び攻撃要領要圖



0226

陸軍

勤務

一 午前中全員マシテ光ケル兵者ノ入ヲ實施セシム
 二 四時ヨリ中隊ハマーレ作戦間ニ於ケル主管兵器整理保
 存ノ状態ヲ検査シ之ガ整備ノ促進次期作戦準備ニ道
 徳トシテ自的ヲ以テ兵者検査ヲ實施ス
 其成績ハ幕務後短時間整備ニシテハ良好ナルモタ
 細部ノ要領ニ不十分ナリ
 猶一層綿密ニテ入ヲ取扱ニ道徳ナカクシムルヲ要ス
 三 十六時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施セシム
 四 本日勤務員巨知シ

日直下士官	菊原	軍曹
日直上等兵	林	上等兵
第一分哨	打坂	伍長以下五名
第二分哨	柱	伍長以下五名
第三分哨	加藤	上等兵以下五名

0227

會報	五	第四分有	松下 伍長以下五名
南支那會報	三月五日	一兵團ニ於テ八倍行社員夏服地ニ着分ノ配當ニ交ケ アルヲ以テ之ヲ購買希世者ハ成ルベク速カニ聯隊本部 ニ申上レ度尙由込多數ノ場合ヲ顧慮シ持ニ優先配 當ヲ要スル時ハ其ノ理由ヲ附記セラレ度	尙製作ハ各自ニ於テ現地洋服屋ヲ指導製作セラレ度 ニ第二隊炊事場附近及廁所ハ依然トシテ不潔ナリ連ニ 清掃セラレ度 尙各隊夏服具ノ日光汚着被服ノ洗濯保清潔ニ度
現衣更	六	九一名	於クワラビラー
月日	三月五日	土曜日	晴後雨
一中隊ハ本日連續勤務ナルヲ以テ各分哨ヲ交代セシメ未兵器檢	査スルヲ十時ヨリ檢査ヲ實施ス		

東京小澤館

0228

陸軍

勤務	<p>二十七日ヨリ約一時間敵足体操ヲ實施スルム 三本日勤務員左ノ如シ</p>
日直下士官	昌 永 軍 曹
日直上等兵	渡 利 上 等 兵
第一分哨	柳 路 伍 長 以 下 五 名
第二分哨	佐 々 木 上 等 兵 以 下 五 名
第三分哨	高 橋 伍 長 以 下 五 名
第四分哨	平 岡 上 等 兵 以 下 五 名
會報	<p>四 南 警 備 隊 會 報 <small>三月廿一日</small></p>
<p>一 近 來 領 二 駐 留 地 外 へ 出 張 ノ 申 請 遲 延 シ 爲 奉 務 處 理 上 遺 憾 ノ 莫 ク リ</p>	
<p>爾 今 各 隊 ハ 本 張 ニ 前 進 ニ 提 出 セ ラ レ 度</p>	
九 一 名	
現長員	<p>三月廿五日 月曜日 晴 於 多 志 ニ 一 マ テ リ ン グ</p>

0229

<p>勤 務</p>	<p>一中隊ハ渡作ノ命一ノハ飛ニ基キ大將起床ニ時出テ渡準備ヲ完了シセナリシヲ(カホニシテ)西南約四村ノ地実ニ第一夜迄圍陣ヲ免致シ土民ノ動靜搜索ニ任ス</p> <p>ニ此附近ハ支那人部甚多ニシテ又タムビニ方面ヨリ北上シテ支那人多数アルヲ發見ス 土民ハ持ニ我ニ好意ヲ有シ糧ヲ掃蕩ニ望ミ援助ヲ乞フ</p> <p>三十七時迄渡準備ヲ完了シ至夜ナル時警戒煙ニ依リ撤ス</p> <p>四日、勤務員反、如シ</p> <p>第一分哨 高橋 伍長以下五名</p> <p>第二分哨 藤崎 伍長以下五名</p> <p>第三分哨 渡利 上等兵以下五名</p> <p>陸軍衛生上等兵 中本 信太郎</p> <p>陸軍一等兵 大迫 田 義 大</p> <p>多クニアル兵站病院ヲ退院本日中隊復歸ス</p>
<p>勤 務</p>	<p>陸軍一等兵 大迫 田 義 大</p>

東京小隊

21

陸軍

現 在 員	月 日	勤 務
九三名	三月五日 月曜日 晴 於 フワラビラー	<p>一中隊ハ七時起床八時出發準備ヲ完了シ第二日自行動ヲ開始ス</p> <p>二第一小隊ヲ本道右側第一小隊ヲ右側中隊ヲ本道上ヲ前進掃蕩ヲ實施ス</p> <p>三第一小隊ハ七時五分掃蕩終了シ第六中隊ト連絡ヲ終ル第二小隊ハ七時掃蕩ヲ終リ大隊本部ヲ第五中隊トノ各々連絡ヲ實施ス</p> <p>本掃蕩地區ハ支那人部落多數ニテ全部落民ヲ集メ訊問調査シタル後不領分子一五六ヲ刺殺シ十九時五分フワラビラーニ集結ス</p> <p>四本日勤務員五ノ如シ</p>
		日直下七員 蜀 永 單 勞

0231

日道上等兵	仁井上等兵	郷路伍長以下五名
第一分哨	佐々木上等兵以下五名	高橋伍長以下五名
第二分哨	平岡上等兵以下五名	三月十六日一六〇〇
第三分哨	三月十六日一八〇〇	警備隊ニ於テ功績
第四分哨	三月十六日一八〇〇	各隊長及功績
第五分哨	三月十六日一八〇〇	三月十六日一六〇〇
第六分哨	三月十六日一六〇〇	三月十六日一六〇〇
第七分哨	三月十六日一六〇〇	三月十六日一六〇〇
第八分哨	三月十六日一六〇〇	三月十六日一六〇〇
第九分哨	三月十六日一六〇〇	三月十六日一六〇〇
第十分哨	三月十六日一六〇〇	三月十六日一六〇〇
第十一分哨	三月十六日一六〇〇	三月十六日一六〇〇

0232

陸軍

現 狀 日	部西側上ノ襟部西側ニ所着ニ得サル略衣ハ左胸部乳 部ニ箇ヲ附着スルニトス 尚將校以下半袴(膝ヨリ短キモノヲ稱ス)ノ着用ハ依然 之ヲ禁ゼル 凡三名 三月十日 火曜日 晴 於クワラビラー 一中隊ハ渡作命第一ノ號ニ基キ十五時四十分出發準備見 了シ十五時時轉車社自動車ニ台ニ分乘シカンボンハトキル ニンバンヘルタン道ヲレンバンヘルタンニ向ヒ前進ス十五時三十分ニバン ヘルタンニ到着第一先遣團陣ヲ見放ス ニ鴨伍長以下五名ヲ部落南端ニ配置シ至嚴元終我程ニ視ヲ 徹ス
命 令	三 渡作命第一ノ號 南警備隊命令 三月十日ハル 七レキハハル ン

0233

「カンボニア」附近ノ敵性分子ハ激減セシタリ「クワン
 ワン」並「ケ」附近ニハ敵性分子相番数増長ニアリ
 テ物ニ「ケ」附近ハ其ノ策源地ナルモ如シ
 南警備隊ハ「クワン」並「ケ」附近ノ敵性分子ヲ
 掃蕩ス
 軍政府部員兵士始末部員ハ依然本掃蕩ニ
 協力ス
 二第一掃蕩隊ハ十八日早朝現地地出發「カンボニア」
 「セムベン」ノ「クワン」道ヲ前進シ同日夕迄電
 國圖ヲ構成シ十九日早朝ヨリ所定敵性分子掃
 蕩シ同日夕迄ニ「クワン」東南約三料「クワン」
 「クワン」東北約二料「クワン」東北約四料「クワン」
 「クワン」東北約六料ノ線ニ進出シ第二掃蕩隊
 ト連絡シテ後「クワン」西南側ニ侵入カテ集結シ敵性

東京小澤

陸軍

分子ノ動向ヲ搜索シテ後命ヲ待ツルニ
 四第ニ掃蕩隊ハ十七日十五時現在地出發「カネンビラー」
 「カネンバトキル」ニシテハベルタンニ「クワクマ」道ヲ前進
 シ同日夕迄ニ「ベルタン」西北方約四科標高870南側附近
 ニ進出シ十八日早朝ヨリ行動ヲ開始シ「ベルタン」
 道ニ沿フ地區ノ敵性分子ヲ掃蕩シ同日夕迄ニ「色」
 「ラ」構成シ十九日早朝ヨリ更ニ行動ヲ開始シ「色」
 性分子ヲ掃蕩シ同日夕迄ニ「色」線ニ進出シ第一
 第三掃蕩隊ト連絡シクル後「クワクマ」東側ニ兵
 カヲ集結シ敵性分子ノ動向ヲ搜索シテ後命ヲ待ツ
 五第ニ掃蕩隊ハ十時十六時現在地出發第二掃蕩
 隊ノ進路ヨリ同日夕迄ニ「色」
 朝ヨリ「色」同地西北方約八科870間ノ敵性

0235

現
衣員
日

三月七日 水曜日 晴 於ニバンベルターカホニブル

分子ヲ掃蕩シ同日夕迄ニ宅園圖ヲ構成シ十九日早朝
 行動ヲ開始シ折友ノ敵性分子ヲ掃蕩シケレ西南方
 約一軒半哩標28西南側小流哩標28南方百米ニ交
 路580590線進出シ第一第二掃蕩隊ヲ連絡スル
 後クワワララニ北側地區ニ兵カヲ集結シ敵性分子
 ノ動向ヲ搜索シテ後命ヲ待ス
 大宅園圖ノ構成要領並各掃蕩隊行動地域境
 界ハ別紙ノ要圖ニ知
 七本掃蕩間ニ於ケル夜間ノ各言葉ハ從來ノ通り
 八子ハ依然現存地ニ放リ
 南警備隊長 渡邊 大 佐
 下達書 各隊ノ命令受領者ニ印刷セルモノヲ交付ス
 九三名

東京小澤納

0236

